

人権教育の研究概要



本校の人権教育のねらい



人権意識の高揚を図り、人権についての正しい理解を深め、様々な人権問題を解決しようとする児童を育てる。

教職員研修
の充実

菁莪小・中学校の
連携の強化

目指す児童像

授業実践をととした
研修の充実

人と関わる地域を
活用した学習の充実

人権課題について
の共通理解

児童理解研修の充実

縦割り活動の充実

体験活動を重視する
教育活動の工夫

人権課題の理解と差別の解消を目指す授業や取組の推進

- 「一方に偏ることなく、平等を重んじ、正しいことを貫こうとする、誰に対しても差別や偏見をもつことなく、公正・公平な立場で接し、正義の実現に努める」力を育成するため、全教育活動における関連指導事項を洗い出した一覧表の作成
- 本校で取り上げる「個別の人権課題」の観点
基本的人権、同和問題、女性、子供、高齢者、障害者、外国人、HIV、ハンセン病、ネットによる人権侵害、放射線への理解と被災者への人権侵害等
- 教科書の記述について研究し、課題に正対して知識を伝えると同時に、その事実の現在の評価とそれを解消するために何が必要なのかを考える授業の実践

公正・公平・正義感の育成

学校・学年・学級集団づくりを通じた人権教育の推進

- 道徳の授業実践の質を一層深化し、道徳的心情の育成と道徳の実践力に結びつく、授業づくりの推進
- 学級活動での話し合い活動を重視し、自己決定と主体的な参画による学校生活の充実を図り、他者を意識した学校生活の充実
- 縦割り活動を重視し、高学年と低学年の交流を行い、折り合いをつけさせながら、相互に楽しむことのできる活動づくりの支援
- 菁莪小スタンダードの徹底（教職員の共通理解に基づく指導及び、生徒指導の充実）。あいさつ運動の積極的な推進
- 教育相談を充実させた、カウンセリングマインドに基づく児童理解の推進とより広い視野から児童理解を推進できる発達障害に関する研修会の実施
- 学校応援団の有効活用し、体験活動の積極的な推進、より人とかかわり、地域から多くを学ぶ学習の推進

人間関係力・人間関係調整力
の育成

菁莪中学校との共通行動・連携による人権教育の推進

- 小中合同の人権教育研修会や同和教育研修会の実施
- 教育相談連絡会を一緒に行うことで、児童生徒理解を共通理解、共通行動による指導
- 小中合同のあいさつ運動等の実施による9年間を通じた生徒指導基盤の構築
- 菁莪小と菁莪中の通りにあいさつ通り「せいがハッピーロード」の設定。また地域の人々への情報発信のための人権標語、人権教育通信等の発行
- 定期的な両校の研究の進捗状況や研究成果の交流を図るための人権マナーアップ推進会議（小中学校の教頭、主幹教諭、人権教育主任、研修主任及び白岡市教育委員会指導主事）の実施

人権教育に関する意識の
共有化

